

第3期嶺北地域アクションプランの進捗状況等について
平成28年度地域アクションプランの修正項目（案）

嶺北地域アクションプランの進捗状況等

H 2 8 . 8 . 3 1

嶺北地域本部

1 地域アクションプランの上半期の実施状況（総括）

(1) 総評

嶺北地域アクションプランは、全 23 件中 8 件が新規案件としてスタートし、嶺北 4 町村のまち・ひと・しごと創生総合戦略等の取り組みとベクトルを合わせながら推進している。

農業分野では、3 町が中山間農業複合経営拠点事業に取り組む中、JA 出資型法人（(株)れいほく未来）においては、都市圏からの研修生の受け入れが定着し、新規就農につながってきた。

畜産分野では、土佐あかうし、はちきん地鶏等が順調に増産されており、新たに、堆肥舎の整備や自給用飼料の栽培、食鳥処理場の建設に向けた検討を行うとともに、はちきん地鶏の首都圏での販売拡大に取り組んでいる。

林業分野では、嶺北地域を 1 つのフィールドとした林業クラスターの取り組みを進める中で、集落活動センターにおける担い手育成やコンテナ苗の栽培などに取り組んでいる。

特産品については、ぼうむ合同会社の新製品「土佐泡盛 REIHOKU」の販売や、木工製品の大手企業との業務提携など、新たな動きに期待が高まっている。

観光分野では、アウトドアの里づくりと山岳観光の拠点整備を中心に協議を行っている。

また、これら全ての取り組みを進展させるために、広域連携による交流人口の拡大や移住対策、若者の定着が必須であるため、学生・若者と地域を結ぶ「ONE れいほく」による仕組みづくりを進めるべく、クラウドファンディングも活用しつつ、地域と共に取り組んでいる。

(2) 具体的な動き

項目	取組状況（結果、成果を含む）・課題と今後の対応
<p>■No.2 JA 出資型法人（(株)れいほく未来）を核とする地域活性化の取組（嶺北地域全域）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(株)れいほく未来 ・JA 土佐れいほく 	<p>[目標 (H31)]</p> <p>研修による新規就農者数（雇用者数含む） ：12 人（H28～31 累計）＜H24～27 累計：8 人＞</p> <p>農業経営事業（園芸）売上高 ：50,000 千円＜H26：23,670 千円＞</p> <p>米粉等の販売額：1.1 億円＜H26：1.04 億円＞</p> <p>[H28 到達目標]</p> <p>研修による新規就農者数（雇用者数含む）：3 人 農業経営事業（園芸）売上高：38,500 千円 米粉等の販売額：1.1 億円</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インターシップ事業実施：2 回（9 月末見込み） ・栽培講習会への参加：4 回 ・生育状況確認及び栽培管理指導：2 回 ・八菜館における米粉パン販売の開始（7/15）

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修生の募集、受入、育成 <ul style="list-style-type: none"> ⇒農業に意欲のある研修生の確保・指導・育成及び独立就農や雇用就農につなげるための就農支援 ・栽培技術の習得 <ul style="list-style-type: none"> ⇒育苗及び野菜栽培管理技術の向上による生産性の向上(彩どりピーマン、米ナス等)及び冬作(スナップエンドウ)の定着に向けた検討
<p>■No.6 土佐あかうしの競争力の確保による肉用牛産業の再興(本山町,土佐町,大豊町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・JA土佐れいほく ・(株)れいほく未来 ・飼養者 ・本山町 ・土佐町 ・大豊町 	<p>[目標(H31)]</p> <p>土佐あかうしの販売額:3.0億円<H26:1.5億円></p> <p>[H28到達目標]</p> <p>土佐あかうしの販売額:2.8億円</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・れいほく未来 飼養頭数:146頭 (繁殖雌牛91頭、肥育22頭、子牛33頭) ・土佐町肉用牛推進クラスター協議会設立(6/10) ・堆肥舎:畜産クラスター整備事業の農政局採択(8/2) 産業振興推進総合支援事業費補助金活用を予定 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・飼育担当者の飼養管理技術の向上 ・自給飼料の確保 <ul style="list-style-type: none"> ⇒飼料用とうもろこし栽培の検討 ・れいほく未来の水不足 <ul style="list-style-type: none"> ⇒こうち農業確立支援事業活用(汲み上げポンプ整備)
<p>■No.7 土佐はちきん地鶏・大川黒牛を活用した畜産の活性化(大川村)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(株)むらびと本舗 ・大川村 	<p>[目標(H31)]</p> <p>黒牛の販売額:54,900千円<H26:34,000千円></p> <p>出荷羽数:12.5万羽<H26:5.2万羽></p> <p>[H28到達目標]</p> <p>黒牛の販売額:40,000千円</p> <p>出荷羽数:8.0万羽</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・黒牛肥育牛舎完成(4/21) ・顧問契約した商社OBによる首都圏での営業活動 ・はちきん地鶏育雛鶏舎(朝谷1棟)完成(6/17) ・大川村PT産業振興部会の開催:3回(9月末見込み) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・はちきん地鶏のブランド化 <ul style="list-style-type: none"> ⇒首都圏における営業活動の強化

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<ul style="list-style-type: none"> ・収益性確保に向けた増羽体制及び施設の整備 ⇒床暖房の効果による育成率、出荷平均体重の改善 肥育鶏舎(方田2棟)の整備(12月完成予定) 食鳥処理場整備の検討 産業振興推進総合支援事業費補助金活用を予定
<p>■No.8 嶺北地域における林業クラスター化の取組(嶺北地域全域)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・森林所有者 ・自伐林家 ・森林組合 ・素材生産事業体 ・高知おおとよ製材(株) ・大豊町 ・本山町 ・土佐町 ・大川村 	<p>[目標(H31)]</p> <p>素材生産量: 130,000 m³ < H26: 98,515 m³ ></p> <p>[H28 到達目標]</p> <p>素材生産量: 110,000 m³</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・木材増産推進プロジェクトチーム会: 2回 ・森林組合支援ワーキング: 2回 ・森林組合支援チームをスタート ・素材生産事業体の増産に向けた聞き取り、協議(森林組合、事業体計12事業体) ・間伐関係補助事業の周知 ・ストックヤード造成工事(現在は進入道開設、その後に造成作業予定) ・原木(C材)の安定供給に向けた各種制度の普及啓発 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・搬出間伐の生産性向上 ・皆伐事業地の拡大に伴う再生林の推進 ・林業事業体の体質強化 ⇒「森の工場」新規計画策定の検討 木材増産に向けた計画的な生産(皆伐・搬出間伐) ・林業従事者及び担い手の育成確保 ・高知おおとよ製材(株)フル生産に向けた原木の安定供給 ⇒必要となる原木量の確保並びに供給体制の整備 コスト及び需要供給のバランスの調整等
<p>■No.11 嶺北の山林をフィールドとした「森の教習所」による担い手育成の取組(土佐町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いしはらの里協議会 ・土佐町 	<p>[目標(H31)]</p> <p>林業研修者: 60人(H28~31累計) < H27: 0人 > 研修者の宿泊日数: 360泊(H28~31累計) < H27: 0泊 ></p> <p>[H28 到達目標]</p> <p>林業研修者: 5人 研修者の宿泊日数: 30泊</p>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>・民間事業者（(株)FPI）等</p>	<p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修プログラムの検討：2回 県立林業学校短期課程（小規模林業向けコース）の土佐町での開催が決定（H29.1～2月予定） ・事業推進体制の検討：1回 合同会社にて、事業推進担当役員を決定 ・研修フィールドの検討：1回 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修生の確保 ・事業の実施に係る財源の確保 ⇒土佐町役場、FPI、県森づくり推進課等と連携し、試行的実施に向けた具体的な検討
<p>■No.12 嶺北地域の特産品販路拡大への支援（嶺北地域全域）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(株)れいほく未来 ・NPO法人土佐さめうら観光協会 ・ポータルサイト利用事業者 ・土佐町 ・本山町 ・大豊町 ・大川村 	<p>[目標（H31）]</p> <p>県外飲食店等との直接取引による販売額 ：85,200千円<H27：0円></p> <p>ポータルサイト年間売上高：1,200千円<H26：564千円></p> <p>[H28 到達目標]</p> <p>県外飲食店等との直接取引による販売額：16,000千円 ポータルサイト年間売上高：700千円</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受発注管理システムを活用した地産外商の実施 ・商談会への参加：1回 面談件数：約30件（うち1件商談継続中） ・直接取引飲食店等：4件 ・直接取引関係生産者等：19件（うち新規4件） ・HPへのアクセス数：830件 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・効率的な集荷方法等、集荷システムの確立 ・計画的な農畜産物の生産体制構築 ⇒嶺北全体における集荷の仕組みづくりのため、各町村の生産事業体へ協力要請
<p>■No.13 クラウドファンディングを活用した地域活性化（嶺北地域全域）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・金融機関、高知大学、町村等で構成する協議会 ・商工会 	<p>[目標（H31）]</p> <p>調達額：15,000千円（H28～31累計）<H27：0円> 嶺北地域のプロジェクト数：5件<H27：0件></p> <p>[H28 到達目標]</p> <p>調達額：5,000千円 嶺北地域のプロジェクト数：2件</p>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<ul style="list-style-type: none"> ・ 本山町 ・ 大豊町 ・ 土佐町 ・ 大川村 	<p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ FAAVO 高知開設 (4/6) ・ 嶺北地域のプロジェクトが資金募集を開始 (4/6) <ul style="list-style-type: none"> PT①達成 車イス対応テーブル 調達額：370 千円、支持者：37 人 PT②達成 防災リーダー育成 調達額：471 千円、支持者：50 人 PT③ 7/29 開始 デザイナーズワンカップ泡盛 ・ サブオーナー（嶺北地域）連携会議：3 回（9 月末見込み） ・ 産業振興アドバイザー制度の活用（利用者掘り起こしのためのアイデアソン）：1 回（7/5） <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域課題の掘り起こし及び地域住民の参加促進・啓発 ⇒嶺北地域における勉強会及びアイデアソンの開催（全 3 回予定）
<p>■No. 14 ぼうむ合同会社による地域資源（木材・米）活用の取組（本山町）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ぼうむ合同会社 ・ 本山町 	<p>[目標 (H31)]</p> <p>木工製品全般の売上高：89,000 千円<H26：33,000 千円> 焼酎の販売額：19,590 千円<H26：4,655 千円></p> <p>[H28 到達目標]</p> <p>木工製品全般の売上高：74,000 千円 焼酎の販売額：7,750 千円</p> <p>[取組状況]</p> <p>[木工製品]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 大手企業との業務提携によるレーザー加工品の製造販売 ・ 産業振興推進総合支援事業費補助金（採択 4/8）を活用した施設・設備の拡充（6 月） (総事業費：34,145 千円、補助金額：15,807 千円) ・ 正職員の新規雇用：2 名（7 月末） ・ 県外での販路拡大・販売促進活動 新規取引先：7 件（5 月末） 取引先累計：168 件（5 月末） <p>[米製品]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 土佐泡盛 REIHOKU を新発売（6 月） ・ 新規取引先：2 店舗（5 月末） ・ 取引先累計：183 店舗（5 月末） ・ 販売本数：696 本（5 月末） ・ 販売額：786 千円（5 月末） ・ 商談会・フェアへの出展：1 回（5 月末） ・ イベントでの PR 販売：2 回（5 月末）

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<ul style="list-style-type: none"> ・ひろめ市場での試飲販売(6月から毎月1回) ・県庁での土佐泡盛お披露目販売(7/12~13) ・新聞・雑誌への記事掲載:3回(7月末) ・テレビでの放映:3局で4回(8月末) ・クラウドファンディング FAAVO 高知で土佐泡盛ワンカップ製造資金の調達を開始(6/28) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・売上の増加 ・認知度の向上 <p>⇒飲食店営業者や消費者を参集した高知市での「土佐泡盛を楽しむ会」等の企画</p>
<p>■No. 15 碁石茶を中心とした加工品ビジネスの展開(大豊町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大豊町碁石茶協同組合 ・(株)大豊ゆとりファーム ・大豊町 	<p>[目標(H31)]</p> <p>碁石茶関連商品の総販売額:0.6億円<H26:0.1億円></p> <p>[H28到達目標]</p> <p>碁石茶関連商品の総販売額:0.2億円</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・販促活動:5回(延べ18日)(9月末見込み) ・碁石茶の製造体験プログラムによる生産補助者の受入(6/20~7/31:5人、7/1~8/25:5人) ・知的財産セミナー開催についての協議 ・機能性表示に関する高知大学との協議 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規生産者の育成・確保 ・原材料となる茶葉(茶園)の確保 ・販路の維持・拡大 <p>⇒機能性表示等の活用による付加価値の向上 高知大学と連携して臨床実験の実施</p>
<p>■No. 16 嶺北材を活かしたオリジナル木工品の製造・販売による地域活性化(土佐町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・さめうらこむ ・犬小屋製作工房K ・土佐地区商工会 	<p>[目標(H31)]</p> <p>注文数:750件<H27:500件> [犬小屋製作工房K] 従業者数:6人<H27:4人> [さめうらこむ]</p> <p>[H28到達目標]</p> <p>注文数:500件 [犬小屋製作工房K] 従業者数:4人 [さめうらこむ]</p> <p>[取組状況]</p> <p>[犬小屋製作工房K]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新工場予定地の農地転用手続き申請(4月) ・オンライン及び紙面での商品PR・販売 ・注文数:136件(6月末)

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>[さめうらこむ]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規製造者の受入(4月) ・オンラインでの商品PR・販売 ・従業者数:5人(うち新規2人)(9月末見込み) <p>[課題と今後の対応]</p> <p>[犬小屋製作工房K]</p> <p>効率的な製造ライン確保のための新工場の整備 ⇒新工場建設予定地の農地転用手続きの年内完了 産業振興推進総合支援事業費補助金申請(12月予定)</p> <p>[さめうらこむ]</p> <p>製品のクオリティ向上 ⇒木工による地域産業活性化のための人材育成</p>
<p>■No.18 嶺北広域観光アウトドアの里づくり(嶺北地域全域)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本山町 ・大豊町 ・土佐町 ・大川村 ・本山町白髪山・工石山保全活用推進協議会 	<p>[目標(H31)]</p> <p>アウトドア拠点施設の利用者数:50,000人<H27:0人> 白髪山・工石山への観光客数 :200人(H28~31累計)<H24~26累計:58人></p> <p>[H28到達目標]</p> <p>アウトドア拠点施設の利用者数:— 白髪山・工石山への観光客数:10人</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高知・本山アウトドアの里づくり推進協議会:2回(9月末見込み) ・アウトドアの里づくり推進協議会打合せ:2回 ・嶺北地域4町村観光担当課長会:2回 ・嶺北地域4町村観光担当課長会:1回 ・本山町白髪山・工石山保全活用協議会総会:1回 ・白髪山「八反奈呂 根下がりヒノキ群生地」の県天然記念物指定(5/17) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施計画(施設の配置計画、運用、収支計画、整備事業費、事業推進体制等)の検討 ⇒実施設計の策定 ⇒県の観光拠点等整備事業費補助金の申請 地方創生推進交付金申請に向けた広域連携の協議 ・天然記念物を中心にした散策ルートの設置及びガイド育成 ⇒モニターツアーの実施 ・工石山「紅れん石」の県天然記念物指定に向けた申請 ⇒年内~年度末の申請を予定

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 19 嶺北地域における山岳観光の拠点整備(嶺北地域全域)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大川村 ・(一社)大川村ふるさとむら公社 ・本山町 ・大豊町 ・土佐町 	<p>[目標(H31)]</p> <p>白滝の里施設利用者数:15,000人<H26:6,175人></p> <p>[H28到達目標]</p> <p>白滝の里施設利用者数:10,000人</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホールアースとの協議(本社):1回 ・大川村PT観光・交流部会:5回(9月末見込み) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既存プログラムの磨き上げによる山岳観光の推進 ⇒モニターツアーによる検証や新規のプログラム開発 ・観光産業人材の育成・確保 ⇒専門研修やOJT研修の実施
<p>■No. 21 嶺北地域の連携による移住促進の取組(嶺北地域全域)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・れいほく田舎暮らしネットワーク ・本山町 ・大豊町 ・土佐町 ・大川村 	<p>[目標(H31)]</p> <p>移住者数 :280人(H28~31累計)<H24~26累計:214人></p> <p>[H28到達目標]</p> <p>移住者数:100人</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・移住促進連絡会の開催:4回 ・県外での移住相談会への参加:2回(東京、大阪) ・移住相談受付件数:75件(6月末) ・空き家調査件数:30件(6月末) ・移住実績:21件30人(6月末) ・土佐泡盛「REIHOKU」の企画・販売促進 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・移住相談等増加への取り組み ⇒PR、情報発信の強化 ・受入体制の整備 ⇒空き家の確保、お試し住宅の整備等
<p>■No. 22 学生・若者と地域の連携による事業創出支援プラットフォーム「ONEれいほく」の構築(嶺北地域全域)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・NPO法人ONEれいほく ・高知大学 ・嶺北高校 ・本山町 	<p>[目標(H31)]</p> <p>プロジェクト数:7件<H27:0件></p> <p>[H28到達目標]</p> <p>プロジェクト数:4件</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・だいちハウス訪問者数:延べ125人 ・プロジェクトの受託:4件 大豊町碁石茶協同組合「特産物等販売戦略委託業務」(5月)

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<ul style="list-style-type: none"> ・大豊町 ・土佐町 ・大川村 	<p>本山町集落活動センター汗見川「清流館利用促進事業委託業務」(7月)</p> <p>土佐町「地域の未来を担う人材育成事業(マイプロジェクト)委託業務」(7月)</p> <p>大豊町「農業インターンシップ事業委託業務」(8月)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・NPO 法人登記 (6/15) ・町村、団体との地域活性化等のプロジェクトに関する協議 ・教育委員会、学校への協力依頼 : 5回 ・活動のPR : 2回 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・NPO の運営体制の確立 ・プロジェクト受託にかかる適切な事務処理 ⇒地域づくりアドバイザーの活用
<p>■No. 23 大豊町西峯地区におけるビジネス創出による地域活性化の取組(大豊町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・西峯地区活性化推進委員会 ・大豊町 	<p>[目標(H31)]</p> <p>生産本数: 2万本<H27: 1,920本></p> <p>[H28 到達目標]</p> <p>生産本数: 2万本</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・播種: 550g ・育苗ハウスの整備: 1棟 ・コンテナへの移植: 20,000本(9月末見込み) ・栽培管理に関する勉強会: 2回 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・移植作業の効率化 ・発芽不良及び移植後の苗の生育不良 <p>⇒勉強会等による栽培管理技術の習得</p>

2 平成28年度産業振興推進総合支援事業費補助金の導入状況(交付決定又は採択事業)

単位: 千円

取組	事業概要	総事業費(補助金額)
<p>No. 14 ばうむ合同会社による地域資源(木材・米)活用の取組(嶺北地域全域)</p>	<p>「もくレース」(木製雑貨)製造施設 拡張による増産体制の整備 (レーザー加工機及びPC等関連機器の増設並びに製造工場の拡張)</p>	<p>34,145千円 (15,807千円)</p>

3 地域アクションプランの追加、修正、削除（予定）項目

[修正] ■ 「No.6 土佐あかうしの競争力の確保による肉用牛産業の再興（本山町、土佐町、大豊町）」の事業主体のうち、「飼養者」を「肉用牛生産組合」に改めるとともに、主な内容に「新たな堆肥化処理施設の整備及び県内産飼料自給率の向上」を追加する。

（理由）計画では、事業主体を個々の「飼養者」としていたが、全員が組合員であるため組織としての「肉用牛生産組合」に改める。また、増頭に伴い、土佐町堆肥センターの堆肥処理能力が限界に至ったため新堆肥舎を今年度整備（事業主体：JA土佐れいほく）することとなった。さらに、地方創生推進交付金の活用により、地域産（自給）飼料の生産（事業主体：土佐町）に取り組むこととなったため。

■ 「No.7 土佐はちきん地鶏・大川黒牛を活用した畜産業の活性化（大川村）」の事業主体に「（一社）大川村ふるさとむら公社」を追加する。

（理由）H28～29年度に予定している「食鳥処理・加工施設の整備」の事業実施主体を（一社）大川村ふるさとむら公社とすることが決定したため。

4 県民参画に向けた取組

- ・土佐町地区長会での第3期計画の説明（4/20）
- ・土佐れいほく農協理事会での第3期計画の説明（4/27）
- ・本山町民生委員児童委員協議会総会・定例会での第3期計画の説明（5/18）
- ・本山町商工会総会での第3期計画の説明（5/20）
- ・大豊町商工会総会での第3期計画の説明（5/20）
- ・産業振興計画シンポジウム（5/23）への参加案内（㈱大豊ゆとりファーム、基石茶協同組合、西峯集落活動センター、JA土佐れいほく、土佐町森林組合、土佐地区商工会、土佐さめうら観光協会、集落活動センターいしはらの里、れいほく田舎暮らしネットワーク など）
- ・土佐の観光創生塾の受講の働きかけ（土佐さめうら観光協会）
- ・FAAVO 高知関連「嶺北を面白くするアイデアソン（7/5）」への参加の働きかけ（本山町、土佐町、大川村内住民）

5 相談案件：6件

NO.	相談日	事業種別	相談内容
1	4/18	商業	店舗及び土地の活用について
2	5/26	農業	6次産業化について
3	5/26	移住	旧施設の活用について
4	6/14	国際交流	チェンマイとの交流について
5	7/6	交流	コミュニティセンターの有効活用について
6	8/2	農業	産地づくり（野菜選別機の整備）について

修正項目(案)

【嶺北地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
<p>6 土佐あかうしの競争力の確保による肉用牛産業の再興</p> <p>《本山町、土佐町、大豊町》</p> <p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">修正前</p>	土佐あかうしの産地を守り、地域の畜産振興を図るため、意欲ある生産者の規模拡大を推進するとともに、土佐あかうし生産基地について、繁殖・肥育一貫経営を軌道に乗せ、安定的な出荷体制を構築する。また、生産と食肉加工から販売に至る畜産の6次産業化に向けた取組を進める。	<ul style="list-style-type: none"> JA土佐れいほく(株)れいほく未来 飼養者 本山町 土佐町 大豊町 	<p>アクションプランの取組開始：H21・土佐あかうし生産施設の整備(H26)</p> <p>◆嶺北地域では、土佐あかうしの未来を担う産地事業が始まり、あかうしの一大基地として繁殖雌牛150頭・肥育牛250頭規模の畜舎が完成し、繁殖雌牛の導入や子牛の育成が進んでいる。一方、個人でもレンタル畜産施設等整備事業にて経営規模を拡充し、持続的な経営の出来る中規模農家が育ってきている。これらにより、土佐あかうし増頭の取組が進行している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 農家戸数及び繁殖雌牛が減少する中での繁殖素牛の確保・増頭 あかうし生産基地の整備後の運営 	<p>◆農家の経営規模の拡充に向けた取組</p> <p>◆生産基地の整備と6次産業化に向けた取組</p>



【嶺北地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
<p>6 土佐あかうしの競争力の確保による肉用牛産業の再興</p> <p>《本山町、土佐町、大豊町》</p> <p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">修正後</p>	土佐あかうしの産地を守り、地域の畜産振興を図るため、意欲ある生産者の規模拡大を推進するとともに、土佐あかうし畜産基地について、繁殖・肥育一貫経営を軌道に乗せ、安定的な出荷体制を構築する。また、生産と食肉加工から販売に至る畜産の6次産業化に向けた取組を進める。	<ul style="list-style-type: none"> JA土佐れいほく(株)れいほく未来 <u>肉用牛生産組合</u> 本山町 土佐町 大豊町 	<p>アクションプランの取組開始：H21・土佐あかうし生産施設の整備(H26)</p> <p>◆嶺北地域では、土佐あかうしの未来を担う産地事業が始まり、あかうしの一大基地として繁殖雌牛150頭・肥育牛250頭規模の畜舎が完成し、繁殖雌牛の導入や子牛の育成が進んでいる。一方、個人でもレンタル畜産施設等整備事業にて経営規模を拡充し、持続的な経営の出来る中規模農家が育ってきている。これらにより、土佐あかうし増頭の取組が進行している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 農家戸数及び繁殖雌牛が減少する中での繁殖素牛の確保・増頭 土佐あかうし畜産基地の整備後の運営 増頭に伴い増加する牛舎の処理及び安心・安全な飼料の給与 	<p>◆農家の経営規模の拡充に向けた取組</p> <p>◆畜産基地の整備と6次産業化に向けた取組</p> <p>◆新たな堆肥処理施設の整備及び県内産飼料自給率の向上</p>

第3期計画					H32以降	指標及び目標		
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)		
農家の経営規模の拡充に向けた取組					→	土佐あかうしの販売額 (H19:2億円) (H22:1.9億円) (H26:1.5億円)	3.0億円	
レンタル畜産施設等整備事業の活用・繁殖雌牛増頭に係る支援の活用								
生産基地の整備と6次産業化に向けた取組					→			
食肉加工施設の整備方針の検討		食肉加工施設の整備		食肉の販路開拓				
繁殖雌牛の導入に対する支援の活用		肥育技術の向上による安定的な出荷体制の構築						
担い手の確保・育成(研修生の受け入れ)								



第3期計画					H32以降	指標及び目標		
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)		
農家の経営規模の拡充に向けた取組					→	土佐あかうしの販売額 (H19:2億円) (H22:1.9億円) (H26:1.5億円)	3.0億円	
レンタル畜産施設等整備事業の活用・繁殖雌牛増頭に係る支援の活用								
畜産基地の整備と6次産業化に向けた取組					→			
食肉加工施設の整備方針の検討		食肉加工施設の整備		食肉の販路開拓				
繁殖雌牛の導入に対する支援の活用		肥育技術の向上による安定的な出荷体制の構築						
担い手の確保・育成(研修生の受け入れ)								
新たな堆肥化処理施設の整備及び県内産飼料自給率の向上					→			
土佐町肉用牛推進協議会設立		地域産飼料の生産・販売						
堆肥舎の整備								

修正項目(案)



【嶺北地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
7 土佐はちきん地鶏・大川黒牛を活用した畜産業の活性化 《大川村》 修正前	大川村の基幹産業である畜産の振興により地域の活性化を図り、雇用の確保、所得の向上につなげる。	・(株)むらびと本舗 ・大川村	アクションプランの取組開始:H21 <大川黒牛> ・繁殖雌牛の保留・更新(H21~27) ◆大川村の支援等により、56頭(H26)まで繁殖雌牛が増頭できた。 ・国のクラスター事業及び県の産業振興推進事業費補助金を活用し、肥育牛舎の建替を行った。(H27) ◆肥育牛舎の建替により、年間70頭の出荷体制による繁殖肥育一貫経営が構築できるようになった。 <土佐はちきん地鶏> ・生産施設の整備(レンタル鶏舎)(H21~27) ◆産業振興推進事業費補助金を活用し、施設整備や施設の改築を行い、10万羽まで生産が可能になった。(H21~22) ・販売促進活動(H21~27) ・大川村プロジェクトを定期的に開催し、生産体制の改善と収益性確保について検討した(H26~27)	<大川黒牛> ・繁殖雌牛の高齢化 ・繁殖雌牛の増頭及び育成経費の確保 ・肥育牛の増産 <土佐はちきん地鶏> ・飼養管理技術の習得 ・出荷体制の改善 ・生産原価の上昇 ・収益性確保のための増羽体制及び施設整備	<大川黒牛> ◆繁殖雌牛の増頭、繁殖牛の1年1産体制の確立、70頭出荷体制の構築(繁殖肥育一貫経営) <土佐はちきん地鶏> ◆飼養管理技術の向上及び食鳥処理施設の整備・稼働並びに付加価値販売





【嶺北地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
7 土佐はちきん地鶏・大川黒牛を活用した畜産業の活性化 《大川村》 修正後	大川村の基幹産業である畜産の振興により地域の活性化を図り、雇用の確保、所得の向上につなげる。	・(株)むらびと本舗 ・(一社)大川村ふるさとむら公社 ・大川村	アクションプランの取組開始:H21 <大川黒牛> ・繁殖雌牛の保留・更新(H21~27) ◆大川村の支援等により、56頭(H26)まで繁殖雌牛が増頭できた。 ・国のクラスター事業及び県の産業振興推進事業費補助金を活用し、肥育牛舎の建替を行った。(H27) ◆肥育牛舎の建替により、年間70頭の出荷体制による繁殖肥育一貫経営が構築できるようになった。 <土佐はちきん地鶏> ・生産施設の整備(レンタル鶏舎)(H21~27) ◆産業振興推進事業費補助金を活用し、施設整備や施設の改築を行い、10万羽まで生産が可能になった。(H21~22) ・販売促進活動(H21~27) ・大川村プロジェクトを定期的に開催し、生産体制の改善と収益性確保について検討した(H26~27)	<大川黒牛> ・繁殖雌牛の高齢化 ・繁殖雌牛の増頭及び育成経費の確保 ・肥育牛の増産 <土佐はちきん地鶏> ・飼養管理技術の習得 ・出荷体制の改善 ・生産原価の上昇 ・収益性確保のための増羽体制及び施設整備	<大川黒牛> ◆繁殖雌牛の増頭、繁殖牛の1年1産体制の確立、70頭出荷体制の構築(繁殖肥育一貫経営) <土佐はちきん地鶏> ◆飼養管理技術の向上及び食鳥処理施設の整備・稼働並びに付加価値販売

第3期計画					H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)	
 <p><大川黒牛>繁殖雌牛の増頭、繁殖牛の1年1産体制の確立、70頭出荷体制の構築(繁殖肥育一貫経営)</p>					黒牛の販売額 (H19:70,000千円) (H25:45,000千円) (H26:34,000千円)	54,900千円	
繁殖雌牛の増頭							
繁殖牛舎の改修							
 <p><土佐はちきん地鶏>飼養管理技術の向上及び食鳥処理施設の整備・稼働並びに付加価値販売</p>					出荷羽数 (H19:1万羽) (H25:5.5万羽) (H26:5.2万羽)	12.5万羽	
関係者間(事業者、村、県)の協議							
飼養管理技術の向上(施設整備による孵化率・育成率の向上、研修会の実施等)							
食鳥処理・加工施設の整備							
はちきん地鶏の付加価値販売、加工品の開発・販路開拓							



第3期計画					H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)	
 <p><大川黒牛>繁殖雌牛の増頭、繁殖牛の1年1産体制の確立、70頭出荷体制の構築(繁殖肥育一貫経営)</p>					黒牛の販売額 (H19:70,000千円) (H25:45,000千円) (H26:34,000千円)	54,900千円	
繁殖雌牛の増頭							
繁殖牛舎の改修							
 <p><土佐はちきん地鶏>飼養管理技術の向上及び食鳥処理施設の整備・稼働並びに付加価値販売</p>					出荷羽数 (H19:1万羽) (H25:5.5万羽) (H26:5.2万羽)	12.5万羽	
関係者間(事業者、村、県)の協議							
飼養管理技術の向上(施設整備による孵化率・育成率の向上、研修会の実施等)							
食鳥処理・加工施設の整備							
はちきん地鶏の付加価値販売、加工品の開発・販路開拓							